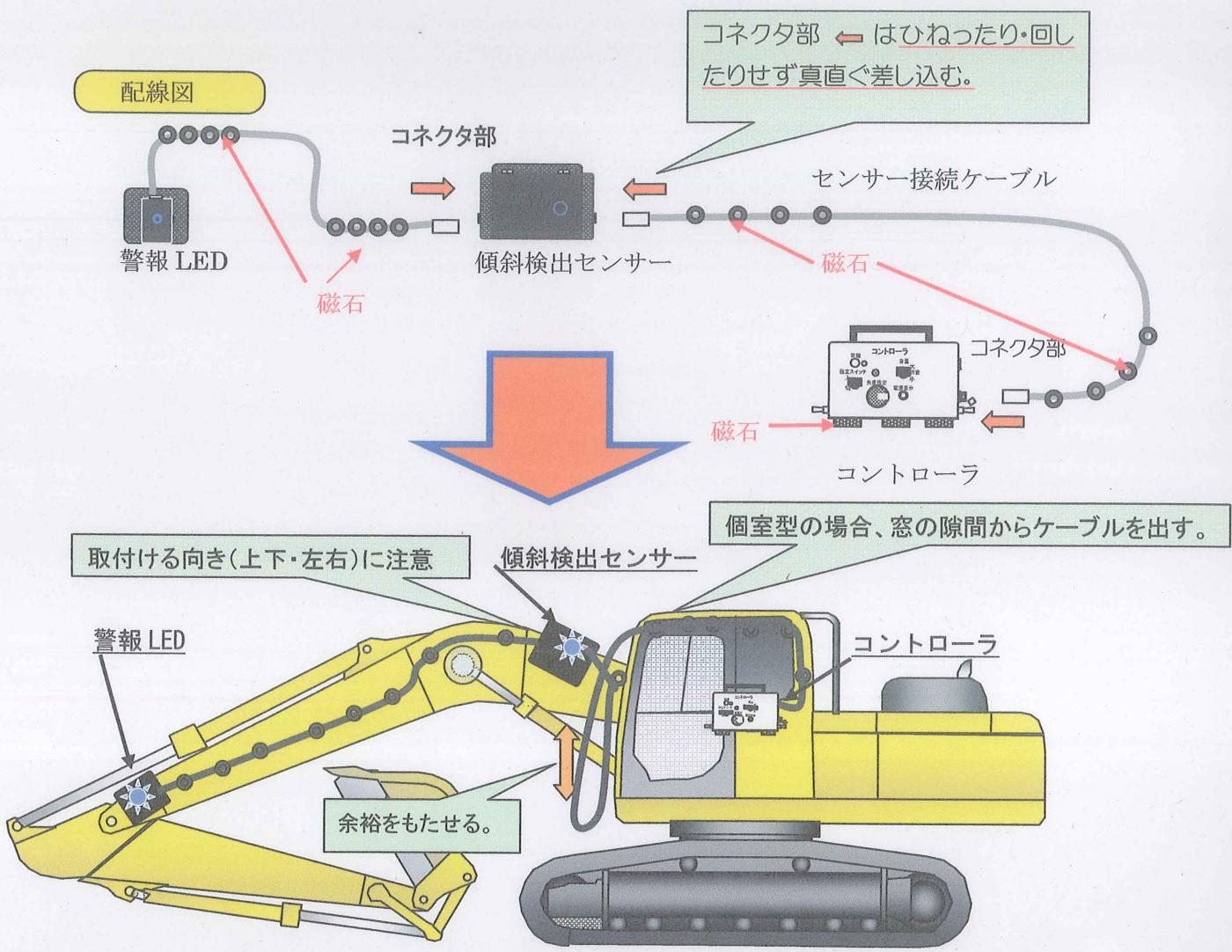


1 『架空線等接近警報システム』を重機に磁石で取り付ける。



取り付け手順 ①～④

アルミケースから『警報 LED』『傾斜検出センサー』『コントローラ』『センサー接続ケーブル』を取り出します。

- ① 運転席にコントローラを磁石で固定します。
- ② 運転席が上図のような個室型の場合、『傾斜検出センサー』と『センサー接続ケーブル』を繋ぐ前に『センサー接続ケーブル』を窓(フロントガラス・天窓・背面ガラス etc)の隙間から外に出します。※ケーブルの長さは4mで径は5.5φです。
ブームが上昇した時のことを考慮し外に出した『センサー接続ケーブル』は余裕を持たせるようにしてください。 ※磁石はスライドできます。余裕を持たせたケーブルには磁石を付けないでください。機体と外に出したケーブルが固定されているとブームが上昇したとき断線の原因となります。
- ③ 『傾斜検出センサー』および『警報 LED』をブームに磁石で固定をします。『傾斜検出センサー』に表記している注意書きを読み取り付ける向きに注意してください。『警報 LED』は、警報時に赤くランプが点滅しますので運転席から見えるような場所に設置をしてください。
ブームの底板には磁着させないでください。(衝撃が加わった際に落下します。)
- ④ 電源を差込み電源ランプ(緑色)・傾斜検出センサー(青色)及び警報 LED(青色)が点灯すれば取付け完了です。

2 『架空線等接近警報システム』の使い方。

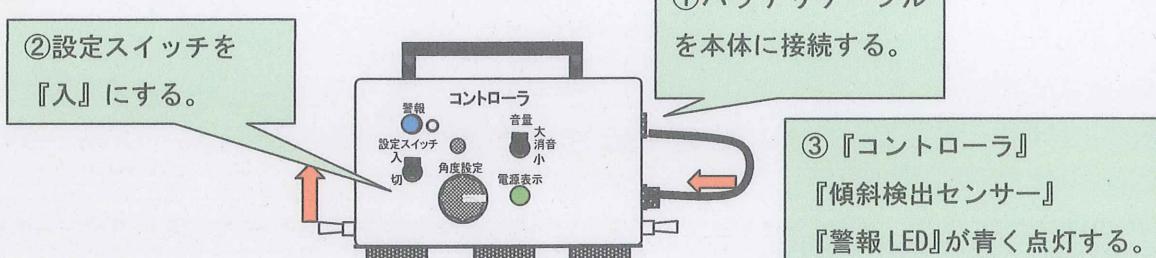
～『架空線等接近警報システム』の電源を入れる。～

架空線等接近警報システムは、充電式です。コントローラ本体の内部にバッテリを搭載しています。

バッテリケーブル(本体から10cmほど出ているコネクタ)をすぐ上にある差込口に繋ぐと電源表示ランプ(緑色)が光ります。緑色ランプの点灯を確認したら『設定スイッチ』を入にします。

この時、バックホーのブームに取付けた『警報 LED』および『傾斜検出センサー』の LED(青色)が点灯すれば電源はOKとなります。

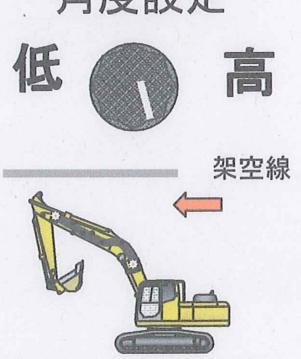
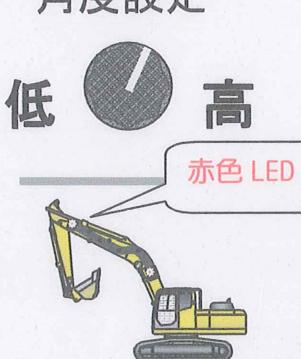
手順 ①～③



角度設定の手順

①→③

コントローラの角度設定ボリュームで設定します。

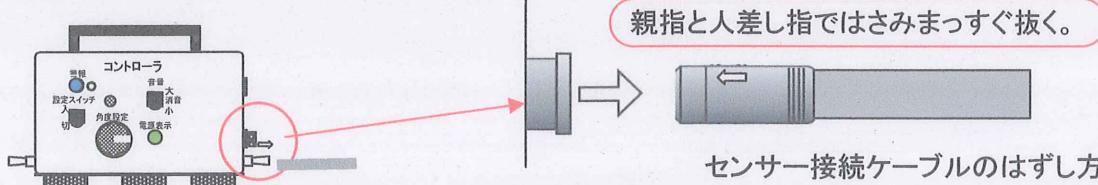
①	②	③
<p>ブームを下げた状態で角度設定ボリュームを一番『高』に回しておき。</p> <p>角度設定</p> 	<p>支障物をOPが確認し、警報を出したい高さまでブームを上昇させ位置が決まつたらブームをストップする。</p> <p>角度設定</p> 	<p>②の状態で、角度設定ボリュームをゆっくり『低』側に回して行き警報音が鳴ったら指を離せば角度設定が完了。</p> <p>角度設定</p> 

充電手順

①→② 使用後は充電をします。

① 「コントローラ」を「センサー接続ケーブル」から外して充電器に接続します。

『センサー接続ケーブル』のコネクタ部を親指と人差指で挟むように持ち無理な力をいれずに真直ぐ抜けば外れます。コネクタ部に力を入れてひねったり・回したりして外すと故障の原因になるのでしないでください。



② 充電器に接続する。 50kHz・60kHz 共通
3時間で完了。

